

第4回 玉名市都市計画マスタープラン策定委員会 議事概要

(1) 策定委員会概要

日時	平成25年8月6日(火) 午後2時～4時
場所	市役所本庁3F 第一委員会室
出席者	<p>委員長：西島 衛治（九州看護福祉大学教授） 副委員長：秋元 一秀（崇城大学准教授） 委員：羽山 眞澄（熊本県建築士会あらたま支部代表） 福本久美子（九州看護福祉大学教授） 東 令佐（玉名市農業委員会会長） 松本 重美（玉名市議会建設委員長） 荒木 信義（玉名商工会議所会頭） 西村 敏男（玉名市商工会会長） 谷口 強（玉名市社会福祉協議会事務局長） 松村 誠一（玉名市区長会協議会会長） 水下 睦文（玉名警察署交通課長） 吉永副署長（有明広域行政事務組合消防本部玉名消防署長：代理） 米満 讓治（熊本県北広域本部玉名地域振興局長）</p> <p style="text-align: center;">※ 欠席者：2名 徳村 美佳（男女共同参画社会づくり地域リーダー） 境 あゆり（JAたまな女性部横島支部長）</p> <p>事務局：坂口建設部長 （都市計画課） 三次課長、田上審議員、松野課長補佐、神永係長、森田主査、森川主任</p> <p>コンサル：松島課長、福光係長、中本係長（玉野総合コンサルタント株式会社） ※他、玉名地域振興局随行者1名（土木部技術管理課 村上参事）</p> <p style="text-align: right;">※敬称略</p> <p style="text-align: center;">計 24名（委員会メンバー13名、事務局7名、コンサル3名、他1名）</p>
会次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員長挨拶 3 報告事項 （報告1）第3回策定委員会について （報告2）都市計画審議会について （報告3）市民ワークショップについて 4 議事 （議題1）全体構想（修正案）について （議題2）地域別構想（案）について 5 その他 6 閉会

(2) 主な意見及び質疑応答

- (報告1) 第3回策定委員会について (報告2) 都市計画審議会について (報告3) 市民ワークショップについて

N O	質 疑 ・ 意 見	回 答
1	<p>・(報告1について 資料1-P.7 -N0.10) 分野別方針に関する事項のうち既成市街地及び庁舎跡地の対応として、庁舎の跡地利用等に係るプロジェクトチームが結成されているとのことであるが、現在までの検討状況等は如何に。</p> <p>また、玉名市の中心には、市の顔となるようなものがないことから、庁舎移転後、繁根木神社の森と一体化するなどしてセントラルパーク的なものを整備すれば新たな市の顔になるのではないか。</p>	<p>庁内プロジェクトチームの概要については次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正式名称は、「玉名市現庁舎跡地等利活用検討プロジェクトチーム」 ・ H24年11月(H24年度)に立ち上げ。 ・ 平成25年7月までに7回検討を実施。 ・ メンバーは、企画経営課を中心に各支所の市民生活課も含めまして8部署で構成。 ・ このプロジェクトチームは、この現庁舎跡地だけではなく、各支所の支所機能についても今後の利活用も含めて検討中。 ・ 玉名市役所現庁舎跡地の今現在の方向性としては、市民会館として利用、文化センターの駐車場として利用、物産館や情報発信施設を構築、子育て関係の複合施設を構築などといったパターンを掲げて検討を進めている。 ・ 平成25年11月頃を目途に方向性を整理し、市長の方に報告予定。 ・ 都市計画課としても跡地も含めて周辺の都市機能の充実というものを維持していかなければならないと考えている。 <p>(事務局)</p>

- (議題1) 全体構想(修正案)について

N O	質 疑 ・ 意 見	回 答
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ (資料4) 都市計画審議会後の関係課協議の中の「都市マスにおける九州看護福祉大学の位置づけ」のところで、「交流拠点を交通拠点とした」とあるが、九州看護福祉大学は交流拠点でいいのではないか。 ・ 大学は交流拠点として位置づけられているか。 	<p>➢まず、従来の「交流拠点」は、交通結節点としての「交通拠点」と位置付けなおしている。</p> <p>➢また、大学については、拠点としての位置づけについて関係課も含め検討したが、位置付けはしていない。</p> <p>(事務局)</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ (第5章p41・42) 市民参画の整備方針の中で、大学は連携というキーワードで入っているが、交流や防災、緊急時の人材など、単に市民参画に関する位置付けではなく、拠点として位置付けた方がよいのではないか。 	<p>➢今の段階では、学園祭への地域住民の積極的な関わり、地域のまちづくり団体への学生の参画、体育館や教室等の無料貸出しといった、ソフト的な部分で、市民参画の分野と福祉の分野で位置づけている。</p> <p>(事務局)</p>

N O	質 疑 ・ 意 見	回 答
	<p>・ 昨年、玉名市において開催した「第6回熊本県火の国フェスティバル」については、九州看護福祉大学を全館借用して開催したことから、関係者より、お褒めの言葉をいただいた。九州看護福祉大学には、数多くの大講義室などもあり他市には真似ができないような機能が兼ね揃っていることから、公設民営の学校が非常に活かされたと感じた。今後、大学を拠点として交流及び地域や広域などでのイベントを開催するなどといったような活用の仕方もあるのではないか。</p>	<p>➤ 今後は、これらの分野以外にも、高台にある大学の防災的な位置付け等盛り込める部分は盛り込んでいきたい。 (事務局)</p>
3	<p>・ 新玉名駅は、駅弁など玉名ブランドの商品を売ったり、花火大会などイベントで人が集まったりと、単純な交通の拠点でない部分があるので、交流という言葉のほうがよいのではないか。</p>	<p>➤</p>
4	<p>・ 九看大については、福祉に関係するところでまとめることも大事かと思うが、これまでの貢献度からすると、もっと大学を玉名市全体の中で大きく捉えていくべきではないか。</p>	<p>➤</p>

● (議題2) 地域別構想(案)について

N O	質 疑 ・ 意 見	回 答
1	<p>・ 北部地域は将来、新玉名駅、九州看護福祉大学と関連して居住環境が進展する可能性のある重要な地域であるのではないか。</p>	<p>➤ ご意見を踏まえ整理する。 (事務局)</p>
2	<p>・ 空家や空地、空店舗に関して、具体的な対策は。</p>	<p>➤ 所有者が適正管理することが基本であるが、現実的な対策として、他市では、条例を制定し解体費の補助を行ったり、国においても補助制度が設置されたりしている。また、古い建物を活用・再生していく方法もある。 ➤ 地域の方々や行政が一体となって検討していく必要があるため、早期解消できるものではないと考える。 (事務局)</p>
3	<p>・ 中山間地における遊休農地を宅地造成などに利用できるのではないか。一方で、農地は貴重な資源であり、守っていくことも重要である。</p>	<p>➤ 土地利用の観点で農地の保全と都市的な土地利用とのバランスをとりながら考えていきたい。 (事務局)</p>

N O	質 疑 ・ 意 見	回 答
4	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域まちづくりの方針と主要な施策」の中の「快適」において、災害に関する避難場所等の記述が漠然としているので、具体的に表現してほしい。 	➤
5	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域のテーマに共通して「自然」という文言が含まれているので、将来の高齢化社会を見据えた「自然」をキーワードとした具体策を導き出す必要があるのではないか。 	➤
6	<ul style="list-style-type: none"> ・人や土地、社会の空洞化が問題になっている中で、定住化を考えたときに、車の利用が必要な地域を定住ゾーンに設定するよりも、在来線の沿線に住宅地を誘導する方が自然ではないか。 	➤
7	<ul style="list-style-type: none"> ・文字が多くて見づらいので、共通項目は一つにまとめて地域の特色や問題点が分かるよう整理する必要があるのではないか。 	➤
8	<ul style="list-style-type: none"> ・地域区分になると全体との関係性が見えないので、個々の施策が都市構造の実現に向けて何にあたるのかわかるようにまとめてほしい。 	➤
9	<ul style="list-style-type: none"> ・環境軸に位置づけられた菊池川についての施策に対する地域ごとの対応が分かりにくく、具体化されない内容に繋がっているのではないか。 	➤
10	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史性を大切にした都市づくりについて、玉名市の歴史を経緯を追って整理し、示すことが分かりやすいのではないか。 	➤
11	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化における地域格差のバランスを考える中で、空き家を高齢者のための拠点施設としたり、廃屋は、まちの景観と併せて対策を講じたりと、マスタープランの中で提案すべきではないか。 	➤
12	<ul style="list-style-type: none"> ・民間や地元から提案できる環境づくりが必要ではないか。 	➤